

事業所名	リニエブラッツ本町			支援プログラム（参考様式）			作成日	2025年	3月	12日	
法人（事業所）理念	生を受けてから最期を迎えるまで、だれもが住み慣れた地域で、その人らしい生を全うできる世の中をつくる 私たちの使命は、その人が持つ生きる力を引き出し、その人の持つ意志の実現を支えていくことです										
支援方針	リニエブラッツ本町では、“学校へ行こう！”“子どもたちが自信を持って生活できるようサポート”この2点を目標に掲げ、生活動作の自立を促す『作業療法士』や、言葉やコミュニケーションの発達のプロ『言語聴覚士』、子どもたちの「楽しい！」を引き出す『保育士』がそれぞれの視点から、おさまの得意不得意に合わせて関わっていきます。 乳幼児期からの成長過程を大切にしながら、就園・就学に向けて一つひとつの「できた！」を積み上げ、子どもたちが自信を持って歩んでいけるようサポートいたします										
営業時間	9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり	なし				
支 援 内 容											
移行支援	園生活へのステップとして、長時間のクラスや昼食時間を設けるなど園生活に近い内容を盛り込んでいます 年長さんからは机上課題やランドセル操作等学校生活に必要なことへの準備期間として楽しんで取り組める環境になるよう工夫しています。 本人、保護者が不安なく就園、就学、進級できるようサポートブックの作成をさせていただきます。										
家族支援	送迎の際にその日の活動の様子や日々の困り事をお話しできる時間を設定しています。 半年に一回おさまの活動の様子を見学しながら、個別支援計画見直しのための面談を実施しています。 園や学校での困り事にもお答えできるよう、関係機関連携を利用した園等への訪問や保育所等訪問支援を利用して園等への訪問を行い、保護者への共有を行っています。										
地域支援・地域連携	園や学校へ訪問し、生活全体を考慮した支援目標を共同して設定している。先生方に施設見学をしていただく機会を設定しています。 相談支援事業所と月1回報告書にて活動時の様子を共有している。担当者会議への参加。密に情報共有している。 社会福祉協議会のイベントへの参加										
児童発達支援			児童発達支援			児童発達支援、放課後等デイサービス					
0～3歳（未就園クラス）			4～5歳（就園クラス）			5歳～（就学前後クラス）					
本人支援	健康・生活	・地域生活に順応して行けるような生活スキルの獲得を目指します。 ・保育士の視点から年齢に合わせて健康状態の把握を行い、自己理解に繋がります。									
		・基本的な生活習慣や生活リズムの獲得を促す ・トイレトレーニングの実施			・基本的な生活習慣や生活リズムの獲得を促す ・衣服の着脱練習・食具操作の練習			・基本生活スキルの獲得を促す ・鉛筆、お箸操作の練習			
	運動・感覚	・理学療法士と協同して日常生活を豊かにする移手段の獲得や、個々の能力を最大限引き出すために活動時の姿勢を設定します。 ・作業療法士の視点で感覚遊びや感覚特性に応じた環境設定を行います。									
		・遊具などを使って身体を大きく動かす事を取り入れ、身体を支える基礎となる力の獲得と情緒の安定を図る			・自分の好きな感覚、苦手な感覚を知ることができるような環境設定を行う			・好きな感覚や苦手な感覚をバランス良く調整できる方法を学ぶ機会を設ける			
	認知・行動	・日々の活動プログラムを通して、日常生活を豊かにするために必要な能力向上、獲得を目指す。（指示を聞いて行動する、自分の好きなこと、苦手な事が分かるなど） ・就園・就学に向けて年齢に合わせた興味・色、形、文字、数字への興味・関心の促進（等）									
		・自分以外の人や物への興味の獲得を促す			・お友だちへの興味を持ち、一緒に遊ぶ楽しさを知る環境を設定する			・お友だちと協力して活動を行えるような環境設定を行う			
	言語コミュニケーション	・コミュニケーションの基盤となる誰かに伝えたい気持ちを育みます。 ・絵カード等おさまに合わせたコミュニケーション手段を言語聴覚士と協同してはぐくみます。									
		・“伝わって嬉しい”“伝えたい！”の気持ちを引き出す ・絵カードを用いて簡単な動作理解を促す			・絵カードと口頭指示を用いて指示理解を促す ・全体指示と個別指示で指示への注意、理解を促す ・おさまの気持ちを言語化し、周りの人へ伝えるサポートをする			・補助的な絵カードの使用で口頭指示の理解を促す。 ・全体指示を聞けるように促す ・自分から気持ちを伝えられるような関わりを行う			
人間関係社会性	・親子教室でおさまへの接し方、マンツーマンに近い環境で大人との信頼関係を築きます。 ・園や学校生活がより良いものになるよう、小集団活動の中でお友達との関わり方を学びます。										
	・愛着形勢が行えるよう個々に合わせた支援方針での関わりを行う ・スタッフと一対一の環境の中で一人遊びの楽しさを知る機会を提供する			・困り感、不安感を察知し、聞きとる中で信頼関係の向上を図る ・一人遊びから協同遊びの発展へのサポートを行う			・困ったことがあった時に、相談できるような環境を整える ・自分の気持ちに折り合いを付ける練習の機会、促しを行う ・ルールのある遊びの中で友だちと協力することを学ぶ場を提供する				
職員の質の向上	毎週火曜日に勉強会、事例検討会の実施 多職種で連携しながら活動プログラムを立案する 毎週金曜日に週のプログラムの振り返りと次週プログラムへの活かし方を検討する話し合いを行っている										
主な行事等	他事業所との合同イベントで異年齢での交流 夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会、お花見等季節の行事 区民プールや室内での水遊び										